



さいかい

2022. 8
Vol.112
Summer

Contents

- ・理事紹介
- ・第28回長崎県作業療法学会
- ・第29回長崎県作業療法学会
- ・達人Tell me
- ・私たちのところ、こんなことやってます
- ・ZOOM開催のQ&A
- ・九州学会報告
- ・県北・長崎地区の取り組み
- ・県内の研修会紹介
- ・新人会員紹介
- ・パノト

発行元：一般社団法人長崎県作業療法士会 事務局
長崎市東町1909 西川第1ビル101 代表 沖英一
企画・編集 | 長崎県作業療法士会 広報局

理事紹介

令和4年度定時総会において、代表理事を含む18名の理事が承認されました。継続15名、再任1名、新任2名の体制で2年間、長崎県作業療法士会の組織運営を担っていただきます。各理事の皆さんのコメントをぜひご確認ください！

会長（代表理事） 沖 英一【和仁会病院】



この度、会長に就任いたしました。年月の流れは早いもので10期目となります。初めて会長に就任の頃は、会員数が現在の三分の一程度だったと記憶しています。国から出される情報・求められる県内での活動も現在と比べるとはるかに少なくゆっくりでした。今では、超高齢社会の中、地域共生社会の実現に向けて作業療法に期待が集まっています。作業療法士は、「日常生活から社会生活まで幅広い領域で暮らしやすさを取り戻すために働きかけ」を行います。今後、有資格者（会員数）の増加に伴い身近なところで作業療法を展開していくことになります。会員の皆様とともに、会員の資質向上と地位の向上を目的に県士会を盛り立てていきますのでご協力よろしくお願ひいたします。

副会長 前園 健之【杠葉病院】



今期も副会長を拝命いたしました。もう10年以上、いや～長いですね。会長の補佐をしつつ、倫理担当窓口（殆ど仕事が無い！良いことですが）とMTDLP推進委員をはや8年？務めています。今はMTDLP指導者や仲間が良く働いてくれて、神輿の上に乗っかっているだけ？(笑)な感じです。士会の理事を務めてから県外の多くの方々と知り合え(中村協会会長をはじめ)て、いろんな意味で良かったな～と思っています。振り返ると、私がOTになったその年に広報部に引き込まれ、それから精神科担当理事として初入閣、地区担当、副会長と歴任しています。私の臨床と士会活動は同じ長さなんですよ。30年以上…。そろそろ君たちも…。

副会長 小中原 隆史【道ノ尾病院】



今期より副会長の職を拝命致しました。道ノ尾病院の小中原隆史です。新型コロナウイルスのワクチン接種が3回、4回と進む中でも、私たちの業界はまだまだ生活上の行動制限や新たな適応行動を求められています。会員の皆様に置かれましても、メンタルヘルスに不調をきたすことのないようご自愛ください。今後も長崎県作業療法士会が地域社会(人)に必要とされる持続可能な団体となるよう、また団体組織の内外部で多様性を受け入れ成長していける団体となるよう、土壌を耕し肥料となり、次の芽につなげていく役目と、漠然と考えております。諸先輩方、同世代の皆様、後輩の皆様、これからも一緒に、楽しみながら！宜しくお願い致します。

事務局 福島 浩満【長崎医療技術専門学校】



しばらく広報局も兼任しておりましたが、今期から事務局のみを務めさせていただきます。昨年度末から事務所の借用、そして事務員雇用もさせていただきたく思いました。またこのコロナ禍で一気にオンライン化が進みました。当会も時代の波に乗り遅れないよう、ICT化をサポートしていきたいと考えています。特に任命されてはいませんが、いつの間にか当会のIT担当のように活動しています。常に人員不足ですので、IT系に興味がある方はぜひ、ぜひ、ぜひご協力をお願いします(一人一)。

学術局 光永 済【長崎大学病院】



学術局理事として2期目を務めさせて頂くことになりました。1期目で経験し学んだことを、2期目で生かせるよう精進していきたいと思ひます。さて、学術局としては、皆様方の研究や学会発表、論文作成について少しでも尽力できたらと考えております。分野や病院・施設の垣根を超えて気軽に相談・支援できる体制を整えていきたいと思ひますので、ご期待いただければと思ひます。全ての会員の方が主役です！楽しみながら、学術について共に学んでいければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

広報局 黒木 一誠【長崎北病院】



この度、長年関わらせて頂いた事業局から、広報局の担当理事を拝命しました。今までの広報局担当理事の方が積み上げてきた活動をベースに進めていきますが、理事になって今期で6期目になりますので、私に関わってきた県士会事業を会員の皆様だけでなく、行政や他の職能団体、地域の住民や学生など、外向けの広報活動にも力を入れ、地域共生社会の中での、作業療法士の地位向上にも寄与した活動も行っていきたいと考えています。活動紹介や特集企画の際は、寄稿へのご協力をお願いします。

教育局/地域局（県北地区） 塚本 倫央【長崎労災病院】



理事としてのテーマは長崎県作業療法士会を変えるのは、あなたかもしれないです。自信や誇りが持てるよう環境調整していきます【未来への10マニフェスト】①次世代に長崎県士会が全国を牽引していることを伝えていきます。②若手と共に学んでいきます③子育て世代にも学びの場を提供します④教育の視点で新しい企画を提案します⑤運営には縁の下の方たちになっている班員がいることを伝えます⑥未来のある小中学生に作業療法を広めます⑦マスコミと共同作業として作業療法を広めます⑧会員が繋がる懇親会を開催します⑨研修会や総会に人が集まるよう盛り上げます⑩理事と長崎県士会を日本一にします。

事業局/地域局（県央地区） 原田 洋平【長崎子ども女性障害者支援センター】



3期目を務めさせていただきます。昨期までは、県央地区担当、特設委員会(子どもの地域生活支援委員会)担当として、オンラインでの地区会議、学童保育への相談支援や発達障害に関する研修会等をさせていただきました。御協力いただきました皆様へ、改めて御礼申し上げます。今期は県央地区担当に加え、事業局も担当させていただきます。特設委員会でやってきた活動も、事業局の子どもの地域生活支援班として常設化し、引き続き活動させていただくことになり、身が引き締まる思いです。微力ではございますが、皆様の声を真摯に受け止め、努力して参りたいと思っております。今後とも御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

事業局/地域局（県央地区） 坪田 優一【愛野ありあけ病院】



今年度から事業局理事と県南地区理事を兼務させて頂くことになりました、愛野ありあけ病院の坪田と申します。事業局理事として、原田理事、鎌田理事とともに、各事業が円滑に実施できるよう努めて参ります。そして、県南地区理事として2期目を迎えました。今年度は、地区研修会やオンライン懇親会等を企画しています。地区会員の皆様のつながりを深めていけるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

地域局（県北地区） 小出 将志【燿光リハビリテーション病院】



この度、3期目の県北地区理事として着任いたしました。燿光リハビリテーション病院の小出将志と申します。近年はコロナ禍により、まともに広報や懇親会等を行えておりませんでした。今年度はオンラインの活用を踏まえ、新たな形で行えることを企画しております。今年度も県北地区のオンライン懇親会を行いますので、県北地区のみならず是非多くの方のご参加をお待ちしております！今期もどうぞよろしくお願い致します。

地域局（長崎地区） 川口 幹【長崎リハビリテーション病院】



今期長崎地区理事を務めさせていただきます、長崎リハビリテーション病院の川口です。早いもので理事3期目となりました。年をとりました。コロナ禍で他施設のみなさまと直接触れ合う機会が少ない状況が続いていますが、少しずつでも横のつながりが生まれるように取り組んでいきたいと思っています。まだまだ未熟な点が多いですが、小中原理事・片田理事から学びながら、会員のみなさまの日に役立つよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

教育局 中村 和也【長崎記念病院】



今回、機会に恵まれ、再び理事を務めさせていただきますこととなりました。長崎県作業療法士会の発展のために、微力ながらも貢献できればと考えています。担当は教育局です。前任の片田理事の功績に少しずつでも近づいていけるよう、塚本理事と力を合わせて、一生懸命頑張っていきたいと思っています。日本作業療法士協会は、次期の5か年戦略の中に、「生涯教育の充実化に向けた制度の再構築」を掲げているようです。時代の流れの中で作業療法の教育も進化していくことに對し、敏感にアンテナを張りつつ、会員の皆様にタイムリーな情報発信ができるよう、自己研鑽を惜しまない覚悟です。どうぞよろしくお願い致します。

地域局（長崎地区） 片田 美咲【にしきの里】



2011年度より、教育局理事として、県士会活動に携わらせていただいております。今回、心機一転、長崎の地区理事に就任することとなり、身の引き締まる思いです。当分は、教育局新理事への引継ぎも含め、右往左往しながらの状況となるかと思われませんが、温かく見守っていただければありがたいです。これからもよろしくお願い致します。

地域生活推進局 日南 雅裕【佐世保北病院】



今年度から制度対策局から地域生活推進局に名称を変え、気持ちも新たに理事を継続することになりました。専任して2期目で慣れた部分もありますが、まだまだ多くのご迷惑をかけるかもしれません、各機関との連絡・調整を行い、円滑に事業が実施できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

地域局（県南地区） 松尾 忠昭【公立小浜温泉病院】



2期目の県南地区理事を担当させていただきます、公立小浜温泉病院の松尾です。コロナ禍で色んな業務負担が日々増える毎日ですが、患者さんと関わる中で少しでも楽しい事、元気になるような事を見つけて仕事しています。地区理事として少しでも皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。

事業局 鎌田 秀一【日見中央病院】



今期より理事就任となり、事業局を担当させていただきます。これまで地域ケア会議班・臨床養成班・長崎地区委員・学会運営等も経験させて頂いておりました。振り返れば、長崎に戻り早15年、初年度より諸先輩方より県士会事業へのお誘いを受け、皆様との繋がりを持って今の自分があると深く感謝しております。まずは新任理事として未踏の事業領域へも参画させていただき、会員の皆様へ少しでもご恩返しできればと楽しみにしております。宜しくお願い致します。コロナ禍明けの夢：宮崎県椎葉村にて野宿（ソロキャンプなんて上品なものでなく）明けの溪流釣り

地域局（離島地区） 篠田 真【長崎県対馬病院】



この度初めて離島地区理事に就任いたしました長崎県対馬病院の篠田真と申します。士会員の皆様の中には離島に馴染みのない方もおられると思いますが、長崎県は全国で最も離島が多く、今年は特にNHK連続テレビ小説「舞い上がれ！」の舞台の一つに五島列島が選ばれており離島にも注目が集まっています。離島地区の五島・壱岐・対馬の3つの島には現在合わせて50名の作業療法士がいます。これだけ多くの作業療法士がいながらこれまでは直接顔を合わせる機会が極端に少ない状況でした。しかし、現在はZoomによる互いの情報共有も容易となりました。この機会に離島地区の作業療法士について学び士会員の皆様に伝えていければと考えています。

地域局（県央地区） 畑田 美恵【大村共立病院】



県央地区理事3期目を務めさせていただきます、大村共立病院の畑田です。地区の皆さんの横のつながりを広げていけるよう頑張っていきたいと思っています。精神科デイケアに所属しています。コロナ禍で何かとストレスの多い日々ですが、一緒に活動させていただける利用者さんに元気をもらいながらお仕事させてもらっています。会員の皆様、よろしくお願い致します。

「探求と深化」 第28回長崎県作業療法学会を終えて

～地域で役立つ作業療法へのこだわり～

学会長 深見 英則

ハイブリッド開催に向けての挑戦…

今学会は対面とWEB形式のハイブリッド開催にむけて、県北地区で企画、運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、県土会員の皆さまと従来の対面による学会を行うにはどうすればよいのかを実行委員、県北地区理事の方々で考え、検討しました。

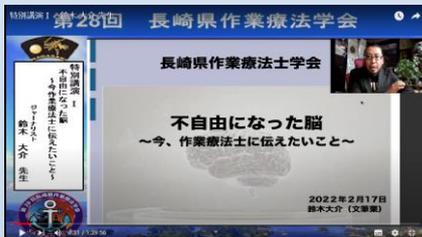
実際に会場で、県土会の機材(ビデオスイッチャーや音響設備)をお借りして、会場の雰囲気を変えようと何度も打ち合わせを行いました。年末から年明けにかけては、感染状況を注視し、可能な形で対面での学会を模索しましたが、残念ながらWEB形式のみの学会になりました。

2日間のLIVE配信と1ヶ月間のオンデマンド配信

今学会の大きな取り組みはLIVE配信が多かったことです。演題発表と質疑応答のLIVE配信、特別講演2講演をLIVE配信、発達に関する体験型講演を2講演行いました。しかも、当日の運営は全て県北の作業療法士だけ、それぞれの自宅や所属施設から、2日間のLIVE配信を無事成功することができました！！

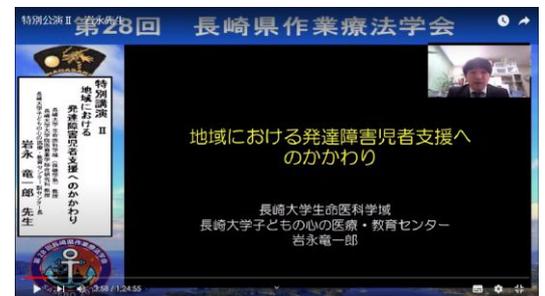
実行委員の方々にはかなりのプレッシャーを感じていたとの声も聞かれましたが、大きなトラブルなく終わることができたのは、動画や音響の微調整、動画の切り替えなど、何度も打ち合わせを重ねていただいた、心強い実行委員のおかげでした！！

講師の先生は、8名と1団体と作業療法士だけでなく、当事者・当事者家族による多様な講演をしていただきました。対象の方の生活を変えるために必要な視点を学ぶことができ、OTの今後の働き方や役割を示唆する内容もあり、学会のテーマである作業療法の『探求』と『深化』につながったのではないのでしょうか。



一般参加者への視聴に向けての取り組み、目標値の達成！！

岩永竜一郎先生の特別講演は、保護者や教育・福祉関係者といった一般の方々にも聞いていただきました。多くの方に視聴できるような準備と広報を行い、202件の登録をいただき、関心の高さを感じました。発達障害児者への作業療法の視点だけではない関わり方のヒントを学んでいただけたかと思います。学会参加者は、県内外・他職種を含め470名の登録をいただき、目標としていた演題発表40演題、LIVE配信参加者のピーク時100名超えを達成することができました。



OTきららの作品からできたスタッフTシャツ



『OTきらら』という利用者様の作品を集め、LIVE配信の昼休みに視聴してもらいました。作品のタイトルや一言を添えて、分野を越えて作業活動の良さを伝えたいと思いました。私たちは、対象の方の作業の意味を推論し、その人の思いや気持ちを感じ、理解しようとしています。対象の方の行為や思い、その人らしい生活を実現するために、私たち作業療法士はこれからも技術を磨き、準備をし続けなければいけません。

最後に

不安や心配も多くありましたが、県学会だからこそ分野の垣根を越えて色々な療法士と協力し、やりたいことを全てOTだけで企画・作成できたことは、良い経験になりました。ここで得た達成感、仲間とのつながりは、これからも大切にしていきたいと思っています。本当にご協力ありがとうございました。

不易流行

～ つなぐ想いと明日への挑戦 ～

会期：2023年2月19日（日）

オンデマンド配信期間 2月20日(月)～3月19日(日)

学会長 挨拶

医療法人 和仁会 和仁会病院 大坪 建

現在コロナ禍の状況となり、生活様式の変容を余儀なくされました。この状況下において、今まで経験したことが無いような行動変容（心構え、仕事内容や役割等）を現在も継続し、試行錯誤しながら各方面で活躍されていると思います。

テーマである「不易流行」のいつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化しているものを取り入れていくことの重要性が喫緊の課題と考え、このテーマを選びました。また「つなぐ想いと明日への挑戦」をサブテーマに学会の開催内容にも工夫を凝らし、次世代へ諸先輩方の思いをつなぎ、時代に応じて行動・意識変容が出来るようにと考えております。

今回の学会開催期間はLIVE配信を2/19(日)の1日とし、オンデマンド配信は4週間(2/20～3/19)を予定しています。1日開催とした理由に関しては、実施内容は大きく縮小するわけではなく、特別講演や教育講演の数もオンデマンド配信等での調整等で皆様に通常と同程度の満足度を戴けると考えております。またLIVE配信を1日にすることで時間的に参加しやすい状況を作り出し、より多くの会員の方々に参加して戴くことを目的としています。

特別講演や教育講演では各方面で活躍されている先生方に不易流行をテーマに興味深い話をして戴けるようにと企画しています。また今回の目玉の一つに長崎地区運営委員会と学会準備委員会とのコラボでの若手療法士向けの研修会も企画しております。楽しみにして戴ければと思います。

準備委員会のメンバー紹介

実行委員長

山井 亨

事務局長

生田 敏明

演題採択委員長

田川 良枝

プロパティ委員長

磯野 真也

特別企画委員長

神田 龍太

Web企画委員長

中村 雄太

ライブ配信委員長

磯貝 直樹

広報委員長

牧野 航

1日開催にした理由

今回はこれまで2日間に分けて行ってきたLIVE配信を、内容と質は可能な限りそのままに、凝縮して1日開催することを決めました。365日体制で土日も休みとは限らない方、子育てで2日間という時間は確保できない方なども学会を1日に集中させることで、充実した学びの機会が得られるように考えた新しい試みです。今回、多くの方にご参加いただき、この1日開催についても皆様のご感想をお聞かせください。



みなさん、

「日々成長していますか？」 「自己研鑽していますか？」
「キャリアを積んでいますか？」 「目標持って取り組んでいますか？」



このような話を聞く機会は少なくないかもしれません。自分をもっと成長するためには、自己研鑽するためにはどこから手をつけようか、何から勉強したら良いのだろうか、と考えている人も少なくないでしょう。一方では、日々の業務に追われて、それどころではない、前向きにいろいろと考えるゆとりがないという人もいます。「人は作業をすることで元気になれる」というOT協会のスローガンがあります。これは自分に対しても言えることです。「作業療法士は、作業すること(作業療法のクオリティを挙げることで)で元気になれる」ということでしょう。

作業療法に必要と思われる要素

ではこれらを実現するために必要なことは何でしょうか？ まずは基本となる作業:occupationを考えるためには私の中ではこのような範囲の情報が必要かと思っています(図1)

学問的要素や技術的要素はイメージしやすいでしょう。物的要素は特に身障や発達に軸足のある方には馴染みある話題です。法的行政的要素や保険の要素は支援には不可欠でしょう。対象者を理解するためには文化や環境のことがマストであることは周知のことと思いますが、より興味を持って掘り下げて。関心を持つことが重要です。

さらに、近年際立って必要だと思うことは政治への関心です。社会保障を中心に支出面では厳しい状況にあります。その中で安定したプロフェッションへの対価と職域の拡大のためにも、政権に近いところで意見が発信できる国会議員の存在は大きな意義があります。種々のことが決まる前に情報を得て、発信する機会を得ないと、作業療法士の活躍の場は広がりません。候補者を見極め、必ず投票へ行きましょう。

我々の身分保障や障害教育など、作業療法士のこ

とに対応する唯一の全国組織が日本作業療法士協会です。残念ながら2006年以降協会の組織率は右肩下がりです。組織率の低下は外部への信用低下につながります。作業療法を充実し発展させるには、作業療法士自身が意識的に考えて守っていかねばなりません。未来へ向けてむけて何が必要かを考え、実行し、さらに組織的に展開しようとする事で先が見えてきます。

人が暮らす・生活するということは、過去からのつながりを含めて考えることで理解が進むことがあります。

人はその個人や個性だけでは生活できません。環境要因に大きく左右されるので、人と環境のことを理解するよう努めたいものです。この環境という言葉は実に幅の広いものなので、図1に記載した要素を考える視点としてみてはいかがでしょうか。これらはその人らしさの理解につながり、家族を理解し、我々ができる支援や介入を現実的のものにしてくれる手助けとなります。

一方で、我々作業療法士もまた地域の生活者です。図1の下部にあるようなライフイベントを体験することで、経験値は上がっていきます。頭でわかったつもりでも実際にそのイベントへ対処するとなると思い通りにはいかないもので、失敗や苦労を重ねることになるかもしれません。いずれにせよその貴重な実体験は、のちの自分の作業療法の糧となることは間違いありません。「自己の治療的利用」にも通じる場所があります。自ら経験の肥やしになるように、自らイベントに飛び込んでいく勇気や気概は必要です。地域とはそんなにたやすいものではありません。意見や価値観の違う人は少なくないですし、手ごわい人生の先輩方が多くいますので、一筋縄ではいきません。しかし、それも含めて理解・対応することで安全・安心な地域生活へとつながっていきます。

このように考えていくと、何から興味を持って、何から勉強しても、結局は作業療法に必要なスキルや経験となってくるので、何から必要か、どのような順番でということ意識的するよりは、まずは生活している自分の興味・関心に向き合いつつ、何かを実践し続けるという方が重要でしょう。このように考えると作業療法士は実にフレキシブルで実践的な職業だと思えます。

作業療法とその周辺で意識したいことの例

学問的要素

- ・生理学、神経学、認知科学
- ・医学
- ・心理学、教育学
- ・統計学、マネジメント学
- ・哲学
- ・歴史

技術的要素

- ・治療体系、ハンドリング
- ・研修体系の充実
- ・時期別、疾患別など機能別体系
- ・周辺領域からの相乗り
- ・連携、協働、コミュニケーション

物的要素

- ・治療機器
- ・義肢器具
- ・ロボティクス
- ・生活用具、設備
- ・福祉用具
- ・職業用具

法的行政的要素

- ・医療法、病院法
- ・介護保険法
- ・総合支援法
- ・生活保護法
- ・労働安全衛生法
- ・指針、方針、ガイドライン
- ・地域医療再生

環境的要素

- ・少子高齢化
- ・生産人口減少
- ・街(生活)環境の変化
- ・外国人
- ・ユニバーサルデザイン
- ・アクセシビリティ
- ・大気汚染、気候変動、災害
- (・紛争、戦争)

保険的要素

- ・公的医療保険
- ・公的介護保険
- ・労災保険
- ・生命保険
- ・損害保険
- ・年金

文化的要素

- ・伝統文化継承、口伝
- ・日本人の価値観
- ・個別の価値観
- ・所作、作法
- ・宗教観と死生観
- ・ダイバーシティ
- ・インクルージョン

その他の要素

- ・選挙、政治
- ・その他

一方で、人は様々な人生経験を重ねる ⇒ これがOTの強みとなる

- ・結婚 ・ 妊娠 ・ 出産、出生 ・ 育児 ・ エイジング ・ 介護
- ・ 周囲の死 ・ 転職等転機 ・ 進学や資格取得 ・ 健康 病気
- ・ 自治会等地元活動 ・ 旅行 ・ その他の体験
- ・ 退職 ・ 人生のサードステージ

図 1



次号では、より充足した職業人生のためへの取り組みにむけて、作業療法士の「就労形態とキャリア」についての話が続きます。お楽しみに！

知っていますか？就学前の準備教室

医療法人社団東洋会 池田病院 中村 ひかる

島原市では5歳児健康診査で、行動面や対人関係面において支援が必要とされた児を対象に「就学前の準備教室」を行っています。私たちは県南地域リハビリテーション広域支援センターのスタッフとして10年以上前より関わらせて頂いています。

目的

- 感覚統合を促す遊びや、注意・集中を促す課題を体験・学習し、就学に向けて準備経験をすることができる。
- 保護者が児の特性を理解し、よりよい関わり方を学ぶことができる。
- 従事者は、教室での関わりにおいて発達障害の早期発見の視点を持ち、児の発達促進と、保護者の育児への困り感の軽減をサポートする。

従事者・それぞれの役割

作業療法士

運動・感覚遊びの支援
プログラム作成・進行

保健師

教室全体の運営
保護者支援

教育委員会

就学に向けて
保護者への講話・助言

保育士

プログラム作成・進行

臨床心理士

保護者への育児講話・助言
発達評価

管理栄養士

おやつづくり支援
生活リズムの講話

教室の流れ

開催期間：10月～11月 毎週金曜日（全8回）

13:00～13:25 事前カンファレンス

- ▶ 机上課題、テーマ遊びの内容の確認
- ▶ 児との関わり方・児の性格や対人関係を考慮した席の検討

13:25～13:30 受付

13:30～ 自由遊び・サーキット

- ▶ トランポリン・平均台・滑り台などで自由に思いっきり遊ぶ
- ▶ サーキットを通して順番を守りながら活動に参加する

14:00～

机上課題

- ▶ しりとり、お店やさんごっこなど遊びを通してひらがなや数字に親しむ

保護者は講話の聴講

- ▶ 作業療法『遊び・感覚統合について』・心理士『リラックス法について』
- ▶ 栄養士『生活リズムについて』・教育委員会『就学に向けて』

14:30～

テーマ遊び

- ▶ グループ製作やミニ運動会、親子でクッキー作りなど色々な活動を通して経験を増やし、保護者や仲間と触れ合う

15:00～15:15

絵本の読み聞かせ・手遊び

終了後

事後カンファレンス

- ▶ 児の身体の使い方や行動、机上課題での理解度や物品操作、保護者の思いなど、その日の教室で気づいたこと・得た情報をスタッフで共有する

ジャンプやバランス能力など運動面はどうか？
ルールを理解は出来ているかな？



ひらがなや数字の理解度はどうか？



どうやったら友達との関りを増やせるかな？

就学前の準備教室を通して

私は2019年から関わらせて頂いており、それまで小児の分野は未経験でした。はじめは他病院に研修・見学に行かせて頂いたり、文献抄読や研修会に参加しながら少しずつ知識を身に付けていっています。

教室ではじっとしてられない子、衝動性がある子、保護者と離れられない子、人見知りの子・・・など様々な子と関わる機会があります。どのように工夫すると新しい環境や友達と馴染めるか？どのような環境がその子が集中して活動に取り組めるか？等スタッフと情報共有し、試行錯誤しながら関わっています。教室を通して子どもだけでなく保護者の困り感を少しでも減らし、子・保護者共に就学準備の一助となる関りが出来ればと思っています！

オンラインミーティングが当たり前になった今、これからホストをされる方も増えると思われます。ちょっとしたトラブルへの対応や、少しでもクオリティーの高い会議や研修会運営についてご紹介します。

Zoom編

～よくあるトラブル～

1 マイク音声相手に聞こえにくい・全く聞こえない

zoomの「オーディオ設定」のマイクを確認しましょう。内蔵マイクか、外部マイクなどどのマイクを選択しているのかチェックします。その上で入力レベルを調整してみましょう。外部マイクやヘッドフォンを接続した時に、意図せず変更されている場合があります。

それでもダメな時はPCの「サウンド設定」を確認してみましょう。

2 他の参加者がマイクをOFFし忘れ、雑音が入っているが、タイミング的に指摘しにくい

ホストは参加者のマイクやカメラをOFFにすることができます。しかし再度ONにするためには本人の操作が必要です。その点注意です。

多くの参加があるミーティングを設定する場合、ホストはルーム設定時にビデオとマイクをOFFスタートにすることもできます。予期せぬ雑音や映像が入るリスクが減らせるのでオススメです。

3 同じ部屋で複数端末からzoomに参加する

ハウリングの原因になりますので、極力避けた方がいい状況ではあります。しかし各人にカメラやモニターが必要な場合など事情がある場合は音響を工夫しましょう。もっとも簡単な方法は1台以外はオーディオから退出し、メインPCに繋がった外部マイクやスピーカーをみんなで使いましょう。イヤホンマイク使用も方法の1つですが、全指向性マイクは意外とよく周囲の音を拾います。使うなら単一指向性マイクのヘッドセットの方がオススメです。

～たまにある質問～

Q 初めてホストをします。ブレイクアウトルームはどうやって設定するの？

A ホストはまずユーザー設定からブレイクアウトルームを有効化しておきます。その後画面下に出てくる「ブレイクアウトルーム」から詳細設定が可能です。「参加者によるルーム選択の許可」も状況によっては便利な機能です。ブレイクアウトルーム実行中にルームは増やせませんので注意しましょう。

Q 大きな講習開催で業者に依頼するとお金がかかる。セルフでの開催は可能でしょうか？

A オンラインのみであれば、プロアカウント+ラージミーティングの契約で500人まで参加可能で、こだわった演出をしない限りセルフで運営可能です。対面とオンラインのハイブリット形式をセルフで開催する場合、いくつか必要な機材と知識が必要ですが、県士会では開催可能な機材とマニュアルを用意していますので、お気軽にお問合せ下さい。

Google forms編

事前申込みやアンケート収集など、フォームの使い勝手の良さはご存じですよね。

今回はアドオン追加による便利機能をご紹介します。

アドオンとは追加できる拡張機能のことで、標準搭載されていない機能の追加ができます。

Google formsを開き、右上の縦「...」から「アドオン」を選択し、検索欄に目的のアドオン名を入れれば探せます。

自動返信<メール通知>

フォームのデフォルトでも送信者に自動返信と管理者への通知機能はありますが、ちょっと使い勝手が...と思われることのある方はぜひ、「メール通知」をアドオンに追加してみてください。

任意のコメントと、相手に返したい内容を選択的にメールで送信できます。もちろん管理者への通知内容も任意に設定できます。

自動でフォームを閉じる<formLimiter>

- ・ 申し込み期限日で閉じる (date and time)
- ・ 指定した回答数に達したらフォームを閉じる (number of form responses)

申し込み期限を設けていても、回答受付中にしたままだったため期限を過ぎて申込があった経験をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな場合は設定時間が来たら自動で回答を閉め切ってくれるformLimiterアドオンのdate and timeを使いましょう。

参加人数に制限がある場合の申込みフォームには同アドオンのnumber of form responsesを使いましょう。

※英語表記がよくわからない時はスマホでGoogleアプリを立ち上げ、カメラマーク、翻訳の順に選択し、PC画面等の英文をスマホ画面越しにみるといいですよ〜♪





九州作業療法学会2022in佐賀

Kyushu occupational Therapy congress 2022 in saga

「維遂（いと）」

～育み、つなぐ。そして明日へ～

九州作業療法士会会長会主催リーダー養成研修会報告会
～九州はひとつ！人がつながる士会活動を語ろう！！～

英仁会 愛野ありあけ病院 坪田優一

令和4年6月18日（土）・19日（日）に開催された九州作業療法士会会長会主催リーダー養成研修会報告会～九州はひとつ！人がつながる士会活動を語ろう！！～に長崎県作業療法士会の発表者として参加しました。九州各県の発表が行われ、その後は各士会における「リーダー養成とは」のディスカッションがあり、当士会の光永理事が司会を務められ、熱いディスカッションが行われました。

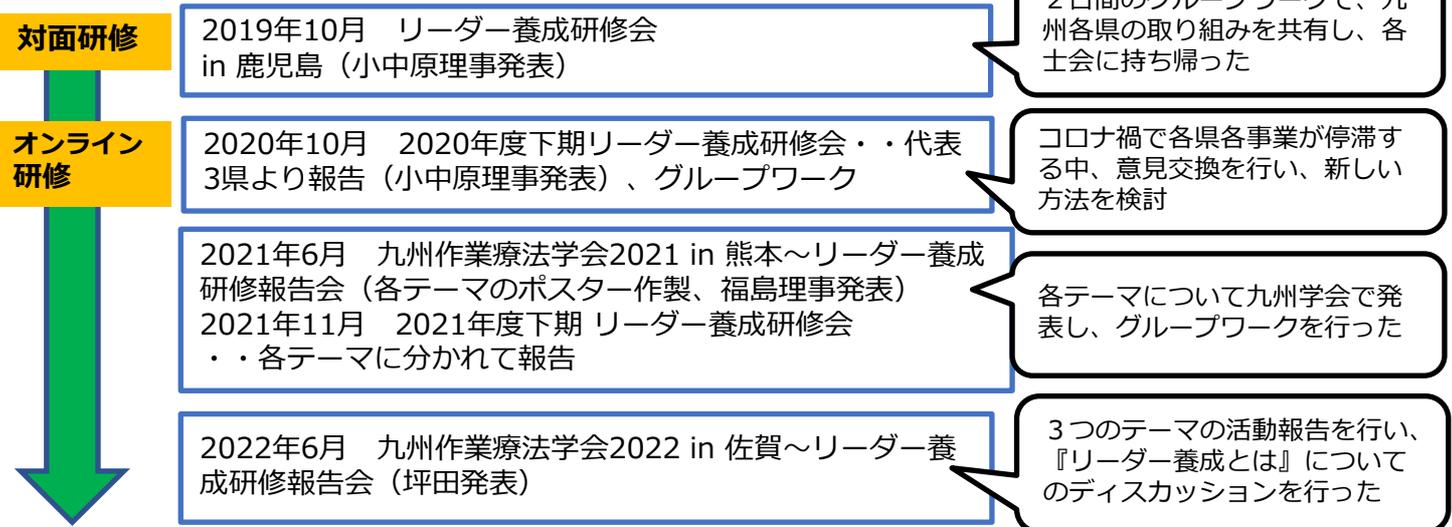
今回、令和元年度から継続して参加してきたリーダー養成研修会について報告をしたいと思います。

【九州作業療法士会会長会リーダー養成研修とは】

毎年開催されてきた九州作業療法士会会長会主催リーダー養成研修会は、令和元年度から内容が変更され、3つのテーマに分かれて研修会が開催されました。私はテーマ②を担当しました。

- テーマ①学会参加を増やすための企画を考える
- テーマ②市町村ごとに窓口となることのできる人材を育成するための企画を考える
- テーマ③県士会の活動に参画してくれる人材発掘から次世代の幹部候補の育成について企画する

【活動内容】



【長崎県士会の報告】

- テーマ①「オンライン長崎県学会の準備・運営とアンケート結果報告」
- テーマ②市町との窓口として設置された地域包括ケア推進委員としての活動報告、県庁・保健所・地域包括支援センターに勤務するOTの先生方との情報交換～地区研修会開催に向けて
- テーマ③各職場の管理職に向け、次世代の人材育成に関するアンケート調査～研修会の開催

【九州作業療法士会会長会リーダー養成研修に参加して】

3つのテーマの成果報告として、「各テーマの担当者がどのように動き、どう変化をしたか」「県士会の課題」「発表者が考えるリーダー養成について」を発表しました。参加当初は、自分がリーダーとなり県士会活動の中で何が出来るか戸惑いました。しかし九州各県との情報共有、グループディスカッションを通して、リーダー養成について考えるきっかけとなり、必要性を強く感じました。一緒に参加をした長崎県士会の先生方、情報交換をした先生方から助言をいただき、大変勉強になりました。実行できていない企画もあり、今後とも取り組んでいきたいと思っています。3年間を通して、九州各県の取り組みを知る機会になり、県士会の課題やヒントを得ることができました。今までの成果をより発展させ、課題は次の取り組みへの原動力にし、県士会を皆様と成長させていけたらと思っています。



オンライン飲み会 のご紹介

県士会全体ではなく、各地区独自の取り組みがありますが、今回は県北・県南地区でオンライン飲み会が開催されたようですので、そちらのご紹介をさせていただきたいと思います♪

県北！運営の立場から

耀光リハビリテーション病院 小出将志 理事

2021年12月11日に県北地区初となるオンライン懇親会を開催いたしました。企画当初は、県北運営会議メンバーも参加者が集まらないのではないかと不安しかありませんでしたが、実際に運営会議メンバーでプレ懇親会をやってみると、これが中々面白くて、話が弾み、気付けば19時から5時間も話をしておりました(余談ですが、私は計11本飲み、翌日は二日酔いで酷いもんでした笑)。

当日は、沖会長をはじめ、理事の方や新人さんにも数名ご参加いただき、計15名で3時間開催させていただきました。zoomで2グループに別れての開催となりましたが、作業療法士の面白さのみならず、人となりや酒の肴になる話など盛り沢山でした☆県北地区オンライン懇親会はまた今年もやります！新旧作業療法士の親睦をはかり、分野問わず交流できるまたとない機会となりますので、皆さま、ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください！\^^/

2022年2月4日(金)のバーモス・ア・島原(県南地区勉強会)終了後に、県南地区初となるオンライン懇親会が開催されました。10名程度の方が参加していたと思います。私は、アサヒスパードライを片手に万全の態勢で参加しましたが、ふたを開けると、お酒を飲んでるのは2名ほど...、実は勉強会が18時30分から開始され、自宅に帰れなかった方が多く、ほとんどは職場からの参加になってしまったそうです。私は、皆でお酒を飲みたかったという悔しい気持ちと、それなら皆の分まで飲まないといけないという変な使命感から1本一気に飲み干し、その後もピスタチオとビールを交互に口に運び、顔をべんかべんか(島原弁：真っ赤)させながら楽しみました。懇親会は40分程度で、新人から20年目以上と幅広い方が参加し、近況報告や難渋している患者の相談、アプローチのアドバイス等、研修会でお金を出さないと聞けないような話が飛び交っていました。とても面白く、勉強になる話がたくさん聞けて有意義な時間となりました。次回は皆でお酒を飲みながらいろいろ語りたかったです。今後もコロナ禍でお店での懇親会は難しいと思うので、オンライン懇親会をどんどん開催してほしいです。よろしくお願ひします。

県南！参加者の立場から

池田病院 中嶋康貴 さん

～編集担当の感想～

私はまだ経験がなく、画面を通して上手く話せるのか不安な面もありますが、新しい感覚で飲み会ができて楽しそうですね♪ある人は一人で居酒屋に行き、オンライン飲み会に参加された強者もおられるようですよ！
(牧野)



新企画 SIG 紹介

今回から長崎県SIG研修会を紹介していく連載企画がスタートしました！研修会の活動や研修会の実績、活動内容、メンバー紹介など、研修会の紹介をしていく企画です！



ふもとの会



ふもとの会とは

長崎県身体障害系の作業療法勉強会であり、隔月で第2火曜日19時よりZOOMにて実施しています。

令和4年度は、**症例報告と研究に関するミニレクチャー**を実施しており、長崎県内の身体障害領域で働くOTの**横の繋がりを形成していく**ことも目的としています。



過去に実施したミニレクチャーの内容

- 上肢機能①概論 : 東 登志夫 先生 (長崎大学)
- 上肢機能②評価 : 光永 濟 先生 (長崎大学病院)
- 高次脳機能障害 : 山田 麻和 先生 (長崎北病院)
- 認知症 : 田平 隆行 先生 (鹿児島大学)
- 目標設定 : 友利幸之介 先生 (東京工科大学)
- 自動車運転 : 小柳 昌彦 先生 (長崎北病院)
- 諸外国の作業療法 : 東嶋美佐子 先生 (西九州大学)
- がんリハ : 吉岐尾優太 先生 (長崎原爆病院)

▶ 大学教員、学位取得者 (修士、博士) や認定OTが講師となり、明日から臨床で使えるテーマをレクチャーをしています。



研究に関するミニレクチャーについて

研究の“お作法”について学び、研究の実践に向けた第一歩を踏み出すことができるようなレクチャーを展開していきます。

- 文献検索の方法について
- 症例報告の方法について
- 学会発表までのプロセスについて
- 臨床研究について
- 研究テーマの設定方法について
- 論文執筆までのプロセスについて



▶ 国内外の雑誌にacceptされたOTが講師となりレクチャーをしますので、ご期待いただければと思います。



研究はなぜ必要なのか？

臨床で生じる患者さん (CL) の問題に対して

- 1) CLの意向や価値観
 - 2) 医療職の専門技能
 - 3) 最良のエビデンス
- を統合して意思決定を行い、最善の医療を提供するため

(友利幸之介 他: 作業で創るエビデンス 医学書院, 2019)

私たちが日常的に行っている作業療法が、CLにとってより良いものとなるよう、検証し、日々進歩していく必要があります。



ふもとの会
Facebook ページ



ふもとの会
メンバー登録はこちらから

バーモス・ア・島原

バーモス・ア・島原とは...

この勉強会は今から22年前、島原半島内にOTが10名もいなかった時に遡ります。新人で入職し、右も左も分らなかった時、勉強会に参加したくても開催されている場所は長崎市内がほとんどでした。インターネットの普及も乏しかった時代、2時間近くかかる場所への勉強会参加はハードルが高過ぎました。そこで、まずは横のつながりを作ろうと、半島内のOTに声をかけさせて頂き、2001年に島原地区勉強会として発足いたしました。当初は、10名前後で症例発表を中心に開催し、飲み会がメインだったと記憶しております。その後、2007年頃に、会の名前を付けよう！と話し合い、できればこの島原に沢山人が集まるような名前を付けたいと検討しておりました。ちょうどその頃に、青年海外協力隊から戻られたOTの提案で、スペイン語で「島原へ行こうよ」という意味を持つ「バーモス・ア・島原」を提案して頂き、この名称に変更した後今に至ります。



今後の展望

県南地区は元々、各病院との横の繋がりが深く現地開催していた際も多く参加頂いていましたが、WEB開催となってからはさらに多くの方に参加頂いています。今後、コロナ禍が落ち着いてからも、WEBと現場でのハイブリッドで実施することで、集まりにくい地域の方も気軽に参加できるようにしていければと考えます。

今後も、院外のOTとの繋がりを通じて知識の向上や作業療法の質の向上ができる場に行きたいと思っています。

責任者：池田病院 中嶋
運営：公立小浜温泉病院 永田・吉田

バーモスでの取り組み

現在、バーモス・ア・島原は2か月に1回の頻度でzoomにて開催しています。主に事例検討が主体で、経験20年以上のOTがアドバイザーとして参加されています。最近では講師を呼んでの研修会を実施することもあります。

各領域・職域を超え作業療法について知識を深めることができる場となるように運営できればと思っています。



紹介します！



新人オリエンテーションを開催しました！

本年もZOOMでの開催となりました。

「県士会組織について」「生涯教育制度と障害教育キャリア育成について」を聴講後、「グループ交流会」を行いました。

グループ交流会では

- ①入職してからの不安や悩み
- ②できるようになったことや手ごたえを感じ始めたこと
- ③1年後の目標

を議題に話し合いました。



燿光リハビリテーション病院



矢城 輝一：患者様一人一人と向き合い、引き出しの多いセラピストになります！

山川 七瀬：患者様の話を傾聴し、患者様のことを第1に考えられるようなセラピストになりたいです。

江口 令奈：患者様の訴えに耳を傾け、沢山のコミュニケーションを図りながら、信頼して頂けるセラピストになりたいです。

堀野 紗矢：患者様の気持ちに寄り添い、患者様にとって意味のある作業療法を提供できるようになりたいです。

大石 莉子：患者様1人1人と向き合い、笑顔になってもらえるようなセラピストになりたいです。

長崎北病院



今里 優希：笑顔で患者さんに寄り添うOTになりたいです！

森山 七海：自分自身楽しみつつ、患者様に“感謝”してもらえるような作業療法士になりたいです。

土屋 未来：一に笑顔、二に笑顔、三四がなくて五に笑顔！

平野 優梨子：患者様の性格や背景を把握した上で患者様に合ったリハビリを提供することができ、安心感を与えられるOTでありたいです。

田淵 慎吾：笑顔、安心感、熱意をモットーに患者様に寄り添えるOTでありたいです。

金崎 遙翔：皆様の心身をとともにケアし、より良い生活が送れるようなサポートができるOTを目指します。

Q.「患者・利用者にとって
どんなOTでありたいですか？」

※写真左より順に名前、コメント記載

長崎リハビリテーション病院



杉本 未来人：退院後の生活を見据えたりハ内容が提供できるように日々精進したいと思います。

松嶋 菜月：患者さまの思いを大切にし、笑顔を引き出していけるよう私も笑顔でがんばりたいです。

藤井 奈那：ひとりひとりの患者さまの気持ちに寄り添って、一緒に取り組み、少しでも患者さまの「できた」が増えるように、知識技術を磨き続けたいです。

井手 大輝：退院してからの生活を一緒に考えながらリハビリを行い、その人らしい生活をどんな形でも送って頂けるように努力します！

長井 辰乃進：一人でも多くの患者様に笑顔になって貰えるように日々学び続けていきたいと思っています。



脇屋 友里花：退院後を見据えて患者様それぞれに合ったリハビリを提供出来るよう頑張ります。

植木 史維真：常に患者様の最善は何かを追求できるよう、努力していきます。

中山 研一：その人らしい生活が送れるよう支援できるセラピストになります。

令和4年度

新入会員を

松岡病院



山口 亜香音：患者様から信頼される作業療法士になれるように頑張ります！

池田病院



山口 琴美：患者様一人一人を元気付けられるよう頑張っていきたいです！

福田 莉奈：患者様の身体も心も元気にできるような作業療法士になれるよう、日々精進していきます！

吉田 妃未来：患者様に信頼されるような作業療法士になれるよう頑張ります！

南野病院



山崎 里佳子：患者様に寄り添える存在となれるようなOTを目指します。

野原 凜人：一つ一つのリハビリに目的を持ち、患者様により適切なリハビリを提供できるOTを目指します。

長崎大学病院



沖田 隼斗：何事も笑顔で丁寧。新人OTとして、患者様一人一人に適したリハビリを提供出来るよう精一杯頑張ります！

井上病院



西 彩音：1人1人にあった患者様とご家族様との信頼関係を築いて不安や悩みを少しでも軽減できるようリハビリを提供し、OTでありたいです。

佐世保北病院



貞富 美羽：患者様に親身に接し、患者様に寄り添える様なOTになれる様、努めていきたいです。

長崎北徳洲会病院



中浦 裕樹：社会人として常識のある行動をとり、患者様の「らしさ」を大切にできる作業療法士になります。

公立小浜病院



渡部 総士：1年目で分からないことばかりですか患者様のために一生懸命頑張りたいと思います！

和仁会病院



志方 友香：まだまだ未熟ですが笑顔と元気を届けられるように頑張ります！

十善会病院



貞方 拓郎：患者様のニーズやデマンドを満たすサポートができるOTでありたいです。

長崎記念病院



高比良 光：安心感を与えるOT。廣田 光夏：私は、患者様に頼られるOTになりたいです。

真珠園療養所



伊賀崎 夏実：対象者さんに親しまれるOTになれるようがんばります！

佐世保中央病院



岡田 葉里：患者様やスタッフの方々から信頼していただける作業療法士になりたいと思います。笑顔を忘れずに頑張ります！

わたしの日常と工夫

連載企画×お父さんOT

profile

2007年に作業療法士の免許取得後、長崎リハビリテーション病院の立ち上げ時に入職。4年目で結婚。現在は16年目で、妻（OT）、11歳の長男、9歳の次男、4歳の三男、0歳の四男の6人家族。趣味はルアー釣りと旅行。職場での役割変更に伴い、新しい業務に奮闘中。



長崎リハビリテーション病院 本田秀明

仕事に対する考え方の違い

独身時代はどちらかというと「仕事と生活は別」という考え方で、仕事にも不満が多く仲間と愚痴を言い合っていたように思います。結婚し子供が生まれると、社会的な責任が大きくなったように感じ、同時に後輩も増え、私の仕事に対する考え方が変わったターニングポイントだったと思います。現在は仕事で学んだことを子育てに活かしたり、逆に子育ての経験が患者さんとの話題になる、後輩指導の一助になるなど、自分が人間的にも成長できるため「仕事も生活の一部」と考えています。

自分らしい父親

長男が生まれたばかりのころは、私が人間的にも父親としても未熟であり、何をしたらよいのか、どう接したらよいのか戸惑うことも多かったと思います。妻と様々な話や経験をしたり、子供が増えたりして徐々に父として成長していると感じます。ただ、あまり気負わず、「自分らしい父親」で良いのかなと。兄2人は徐々に思春期が近づき、父に対する冷たさを感じることもありますが、弟2人が帰宅した際に笑顔で迎えてくれると癒されます。趣味である釣りは家族が寝ている間に行い、朝方帰宅するようにすることで家族と過ごす時間を減らさないようにしています。休日は食事の準備は私が行い、昼間に子供達を連れて外出することで妻が1人になれる時間をつくるなど微力ながらも協力します。もちろん、家族全員での外出もよくしています。

生活から学べるOT

確かに、結婚・子育てによって自己研鑽として使用できる時間は物理的に減少します。それに伴い、研修会などに参加できる時間を捻出することに苦労しますが、ポジティブに考えると効率的に作業する力が養われます。また、家族で過ごすことによって得られる学びもあり、話すときの間の取り方、伝え方の工夫（言葉の選び方や言葉以外の方法）、相手の考えを汲みとるなど、作業療法を実施するうえで大事な技術が磨かれると思います。結婚している・していない、子供がいる・いないに関わらず、考え方や心の持ちよう次第で学べることはたくさんあるのではないかと考えています。

終わりに

偉そうに語ってきましたが、私の家庭でもまだまだ妻の負担が大きいと思い、反省もしています。これからも良い夫、良い父、良いOTに近づけるようにチャレンジしていきたいと思っています。



前長崎県作業療法士会長（現：JAOT監事）長尾哲男さんに聞く。



～365日リハの夢と課題～

「あなたは今日、作業療法士として作業療法をしましたか？」

旧九州労災病院のリハセンターはカナダの労災病院のシステムから学んだもので多分日本初のリハセンターである。当時？のOTは職能療法士と呼ばれており、整形外科系の労災患者の大半は壮年期までで若くペイシェントビジーが早期の職場復帰に必須と言われていた。労働者に熟練という付加価値があり「熟練労働者の早期再就労」に原点があったと言えよう。週休1.5日の時代で現場では訓練量の不足感が強く土日の宿題プログラムを作成し提供しており、患者さんたちの多くは若くて自律的に訓練プログラムに励んでいたがリスクのある訓練室の解放はされてはいなかった。一方でセラピスト抜きの自主訓練の場は患者相互のコミュニケーションで障害の受容や生活の工夫の伝達等の面で大きな役割を果たしていた。

長崎労災病院OTは九州リハ大学4期の近藤さんが入職した1972頃のスタートだと思うので当時は九州労災病院の歴史を引き継いだ“種”を長崎に蒔いたのではないかと思われる。

セラピストが関与する訓練の365体制について、松本康嗣等は「急性期病棟での365日リハビリテーション導入による効果の検討」で、急性期における365体制は全体ではリハ実施日数と在院日数を有意に短縮しており、脳血管疾患ではリハ開始までの日数が短縮し、FIMの改善が見られたと報告している。

当事者に余力があって訓練の目標を認識し自律的に取り組む場合には中断ロスの無い365体制は理想的システムと言えるであろう。

その意味において、生活技能の獲得と定着を目指す「回復期」は作業療法士にとって本領発揮の場であり、患者にとって重要な時期と場を表している言葉だと思われる。ただ、あくまで建前どおりに「回復期病棟」として位置づけて認識している限り、新しい生活技術を習得して社会に戻るといふ大きな課題に立ち向かう人たちに向きあう者としての私たち医療側の支援姿勢には覚悟がはっきりしていないと言えよう。目指している生活自立は生活の場での技能であり企画と遂行能力であるからその「技」を磨く「場」は「病棟」ではなく「生活棟」と表記する覚悟が必要である。それは、患者自身が生活棟に身を置き床上げして患者観を「卒業」するための環境支援でもある。

更には、単純に生活の場への復帰ではなく、発症前から大きく変化した心身機能で模索しながら以前の生活の場で新たな生活を構築しなおすという多大なエネルギーを必要とする開拓者たちへの支援者としての覚悟が問われる世界である。

体力的にゆとりのない高齢者の生活全般を見渡して生活技能を獲得していく場とするためには負荷と休息のバランス良い組み立てが必要であり、自律を目指した生活者としての船出に向けて生活全体の企画に主体性を持てるように支援する必要がある。

現行の365体制は、患者には「生活訓練だから」と休息のない365を強いている感がある一方で、支援者側は支援業務の労働者であり365体制で支援するには交代制が必須となる。支援者の就労体制が週休二日制であれば、土日二日分を交代勤務で対応する必要がある。勤務日の割り振りは厳しくなり結果的に担当OT以外の業務代行が週の半分程度とならざるを得ない。結果として土日休みの時よりも365体制は細かい観察と支援企画の遂行が行き届かない状況になることは否めない。

基礎的な運動訓練は、OTの個別の刺激と指導の下に行われて成果を上げ得たとしても、当事者自身の企画した目的活動のために当事者の意識に呼応して無意識に総体として機能する心身の運動能力は、OTの企画により裏打ちされた疑似的自律作業活動(作業療法士による遂行支援)の中でしか強化が期待できない。

しばしば聞かれる「代行なので」は、意図的に患者の主体性を誘発する刺激として使う場合以外は無責任のそしりを受けかねないとの覚悟が必要でもある。365のキーである作業療法士は医療経済全体の流れに関わらず、今365の理念と運用について患者の立場に身を置いて考える時ではなかろうか。

Long Gole

short Gole



福島理事へ

～本号をもって広報局の第一線から退かれる福島理事へ向けて広報局員よりメッセージ～

PC操作や写真撮影などOTのスキル以外のスキルを厳しくご指導いただきありがとうございました!!
牧野 航

いつもの確なアドバイスをありがとうございます！
引き続きホームページ制作に努めます！
竹内 明日香

福島先生の的確なアドバイス、スピーディーな対応、魅力的な紙面など学ぶことばかりでした！
中村 ひかる

福島先生の助言を通して、惹きつける記事の作り方を学びました、ありがとうございました！
江頭 雄一

福島先生と初めて一緒に仕事ができると思ったら入れ替わりで残念です。これから広報局に少しでも役立つよう頑張ります！お疲れ様でした！
吉田 将人

様々な作業スキルがとても勉強になりました。今後にも活かし励んでいきます！
亀屋 ゆうき

広報を通じて色々繋がりができ、編集技術等大変勉強になりました！お疲れ様でした！
福崎 祐介

記事制作時には的確なアドバイスありがとうございました。魅力的な広報誌が作れるよう、皆さんと協力して頑張りたいと思います。
下田 莉華子

いつも鋭い指摘とアドバイスを頂きとても勉強になりました。今後も魅力的な記事が作れるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました！
池田 結花

福島理事のもと、様々なスキルを学ぶことができました。今後も一緒に仕事をする機会が多いと思いますのでご指導よろしく申し上げます！
生田 敏明

福島理事が加入されてから広報誌等のレベルが格段にアップしました。次の若い世代が頑張っていくと思います。おつかされまでした。
上野 歩

思えば先生が医技専に赴任されて、自分は初めての研究班のメンバーだったと思います。まさかこんな形で県士会の仕事を一緒にさせてもらえる日が来るとは思っていませんでした。さいかいの編集の仕事はとても楽しかったですが、厳しすぎる先生のダメ出しで心が折れそうな時もありましたが、その分今まで編集させてもらったページは思い出深いものばかりです。広報局を離れるのは寂しいですが、また一緒に仕事できるのを楽しみにしています。
原 修平

私も原さん同様、医技専で福島先生の研究班で2年間お世話になり、OTになってからもこうして広報局でもPC操作、編集技術等、頭の中に収まりきれないほどたくさん学ばせてもらいました！仕事復帰したらまた頑張ります！ありがとうございました！
林田 万由

編集後記

「さいかい112号」はいかがでしたか？

次号からは黒木理事とより魅力的な「さいかい」を皆さまにお届けできるよう広報局員一同頑張っていますのでよろしくお願いいたします！

宮崎病院：原 修平 池田 結花
池田病院：中村 ひかる
公立小浜病院：吉田 将人